

薬事日報 薬 学 生 新 聞

<http://www.yakuji.co.jp/>

発行:株式会社薬事日報社

東京本社 〒101-8648
東京都千代田区神田和泉町1
TEL.03-3862-2141
FAX.03-5821-8757大阪支社 〒541-0045
大阪市中央区道修町2-1-10
TEL.06-6203-4191
FAX.06-6233-3681

2012年10月7、8日、静岡県浜松市で第45回日本薬剤師会学術大会が開催されました。その中で私たち薬学生連盟が主体的に企画・運営をする「薬学生による公開シンポジウム」を行いました。09年の滋賀、10年の長野に続き3回目の今回は、最近話題の「チーム医療」に関し医学生、看護学生を含め話し合うことを企画しました。残念ながら当日は、看護学生の参加は叶いませんでしたが、医学生を交えてグループディスカッションを行うことができました。

医療系の学生は互いのことを知らない！？

始めにシンポジウム実行委員長である松崎哲郎が開会あいさつを行いました。続いて曾布川和則静岡県薬剤師会会長、児玉孝日本薬剤師会会長よりあいさつをいただきました。今回はシンポジウムに先立ち、医学生、看護学生、薬学生に対し、各学部生が実際に他職種の仕事をどれほど認識しているかを知る目的で簡単な事前アンケート調査を行いました。

結果、それぞれに他学部の友人がいてもカリキュラムをほとんど知らない、他職種の業務内容も詳しく知らないという結果でした。これは各学部相互にカリキュラム内容を知る“機会”がないためと考えられます。チーム医療を行っていくに当たり、他学部のカリキュラムを知り他職種の強みを見つけしていくことは、チーム医療をより機能させると考えられます。

アンケートの結果で特に印象に残ったのはチーム医療に対する各職種の貢献度に関する項目でした。各職種の認識は共に薬剤師の貢献度が最も低いとの結果でした。しかし、看護学生、医学生から薬剤師には、調剤、服薬指導に加え、医薬品投与や処方設計をお願いしたいなどチーム医療での積極的な関与を期待する意見もありました。

続いて実際のチーム医療の現場か

ら、静岡県立総合病院消化器外科医師の松本知拓、副主任看護師の岩山訓子、副主任薬剤師の中桐季畝の各先生による「チーム医療」に関する講演をいただきました。初めに各職種の仕事を詳細に説明いただき、実際の症例を基に緩和医療（疼痛管理）でのチーム医療の現状をお話いただきました。

ある患者さんが上行結腸癌と診断され術後、再度検査を受け再発が見つかり、医療スタッフと共に疼痛管理を行っていく事例でした。患者さんと各スタッフとの会話、やり取りを取り上げつつ医師、看護師、薬剤師が患者さんへどのようにケアをされていくのかを説明。この中で薬剤師は、①処方設計への参画②副作用コントロール③的確な服薬指導を通じ、チーム医療へ参画している現状が示されました。

学生、社会人問わず全員が熱い議論を

続いてグループディスカッションを行いました。今回の目的に沿い「患者を身体的にも精神的にも健康にすべく、より良いチーム医療を展開するた



医学生交え「チーム医療」を討論

めに、医療スタッフは何をするべきか？」というテーマを選びました。ポストイットを用いて同じ意見をグループ化して相関関係を明確にし、意見をまとめるKJ法で、グループごとに討論を進めました。

参加者は積極的に意見を出し合い、各グループで非常に活発な議論が行われました。参加された学生全員がチーム医療に関心、思いがあったのだと実感しました。自分の意見を主張しつつも他の参加者の意見も静かに聞き、全員でその問題を討議する姿が見られました。議論中は閲覧されていた方々も近くに来て議論の様子を見たり、意見がある方はポストイットに書き込み、別に用意したホワイトボードへ貼っていただきました。会場内の全員が、その問題に取り組み、全員で解決するような雰囲気を感じ取れるほど盛り上がりしました。

グループ発表では、閲覧者の方もホワイトボード周りに座り、全員が発表を見られる状況で行われ、各グループはそれぞれ個性的な意見を出していました。他職種の領域についても知ることがチーム医療に役立つと多くの意見がありました。またあるグループの医学生、薬学生の「薬剤師が病棟に出ていることを知らなかった点に驚いた」

という発表は印象的でした。

今回の企画で一番の収穫は、このような場で医学生と議論ができたことだと思います。各グループとも、素晴らしい発表をしていたと感じました。実際に医学生や看護学生の友人がいて今回のような議論をされたことがある方もいると思います。しかし学会の場で、それを形にまとめ上げ、他学生や社会人の方へ向けて発表する取り組みは、日本で初めてなのではないかと思います。私たち学生が自由な発想でチーム医療を考え、発表したことにに対し、社会人の先生方も本気で質問をされました。質問の形でチーム医療のあり方について鋭い意見、指摘をされ初めて気がつくこともありました。

今回の取り組みは学生がチーム医療を考えるきっかけになればと企画しました。活発な意見が多く出され、大成功だったと思います。薬剤師は今後、より他職種に望まれ、それに伴う多くの知識が要求されると思います。患者さんを救う医療チームの1人として薬剤師ができることを模索、貢献していくことが大切だと学びました。最後にこの企画を支援いただいた日本薬剤師会の諸先生方に深く感謝いたします。

文責：杉山紘一（学術委員会、星薬大5年）

いつでもどこでも試験対策！
毎日20分が合格への鍵



Android/iphone アプリ絶賛公開中！

<http://be89314.com/app/>

つぶ薬 みんなで薬剤師国家試験対策を共有しよう！

<http://tsubu89.com>

薬剤師国家試験対策.com

@be89314 >> <http://twitter.com/be89314>

薬剤師国家試験対策.com

PC <http://be89314.com/>スマホ <http://be89314.com/sp/>

株式会社プチファーマシストの2013年度新卒採用！

関西を中心に新卒薬剤師大募集中！

ただいまエントリー受付中！
スマートフォンからエントリーが可能です。<http://893143.co.jp/recruit/>